

スポーツ振興事業助成金「競技大会助成事業」実施報告

助成事業の実施結果及び助成金の使途に関する情報（平成28年度）

○助成対象事業

競技大会名	「FISジャンプワールドカップレディース2017札幌大会」
期 日	平成29年1月14日（土）～15日（日）
会 場	札幌市 宮の森ジャンプ競技場

種 目：1月14日（土） ノーマルヒル（HS100） 個人戦（11：00 競技開始）

1月15日（日） ノーマルヒル（HS100） 個人戦（11：00 競技開始）

参加選手数： 63名 外国選手 51名（その他海外役員・各国コーチ数 55名）

日本選手 12名（女性6名＋開催国枠6名、参加国数15か国）

2012年に始まったFISジャンプワールドカップレディース大会は、2013年から札幌大会が始まり、今年で5回目の開催となった。年々来日する選手数も増え、日本選手12人を含む16ヶ国63選手がエントリーした。今季は高梨沙羅選手が開幕から6戦中5勝と、他を寄せ付けない強さを発揮、50勝達成目前の活躍に期待が高まり、また、伊藤有希選手も今季これまで表彰台に上がるなど、本大会は日本選手の活躍が大いに期待された。1月14日は伊藤選手がワールドカップ初優勝を飾り、高梨選手が2位と、日本のワンツーフィニッシュに沸いた。15日は伊藤選手が2位、高梨選手が4位に終わり、50勝目は残念ながら達成出来なかったが、総合ポイント首位を走るワールドカップ女王と共に、日本選手の圧倒的強さを内外に印象付け、スキージャンプを通じて日本国民に感動をもたらした。

また、未来を担うジュニア世代にとって、目標となる選手たちの活躍は希望と励みになった。

助成金の使途

下記の助成対象経費の一部に充当	競技会開催／助成金額	6,371,000円
借料及び損料（会場設営機材等）		
雑役務費（競技場整備・警備等）		



FIS ジャンプワールドカップレディース 2017 札幌大会